

新津東部コミ協だより

ミニかわら版

● 令和4年9月号 ●



六月三日(金)に、新津第二小学校で交通安全教室を行いました。例年の一・三年生に加え、昨年は中止となつた二年生も初めて参加しました。

一・三年生は、ひまわり学習センターで、模擬横断歩道を使い、正しい渡り方を、玄関脇の駐車場では、ヤマト運輸の配達車に乗せてもらつて、車からの見え方を学びました。

三年生は、体育館内に信号機や標識、交差点などを設置した仮設コースを自転車で走行して、安全な自転車の通行方法等を体験しました。

子どもたちがこの教室で学んだことを実践できるよう、地域の皆様からは引き続き見守り活動に取り組んでいただければ幸いです。



● 1、2年生 正しい横断歩道の渡り方

ヤマト運輸の皆さんから横断歩道の渡り方についてのお話を聞いてから、実際に渡る練習をしました。



● 3年生 自転車の正しい乗り方

信号機、交差点などを想定したコースを実際に走行し、講師の先生から安全に関する様々な指導を頂きました。



● 世代間交流事業として、また「コロナ禍でもできる事業」と始めた取り組みです。

新津東部コミ協【福祉委員会】では、感染防止に十

ミニオリエンテーリング形式で、4カ所のチェックポイントのうち2カ所のスタンプが確認できれば参加賞贈呈という楽しい事業です。

皆さんのご参加をお待ちしております。

分配しながらコロナ禍であつても「ご近所同士で助け合える地域」・「互いのつながりを大切に工夫して活動ができる」コミュニティ協議会を目指しています。

十月には『第十四回ふれあい健康づくりの集い「体重組成測定」をおこない健康状態を確認しましょう』を開催する予定です。

初夏の新津川遊歩道を歩きましょう！

福祉健康部



● 新町裏木橋 ポイント
親子連れや子どもたちにも、新津川の自然に触れあってもらうことが出来ました。

■東部コミ協は、「安全安心な地域社会づくり」「福祉活動の充実」「地域社会の交流」を当面の活動目標としています。

■地域の古紙収集活動で、得られる交付金が、東部コミ協の貴重な活動費の一部となっています。

自主防災連絡会の活動報告

総務部



●秋葉区避難所運営体制連絡会

秋葉区が開催した避難所運営の講習会に自主防災連絡会の役員が参加しました。

(令和4年8月5日)

東部コミ協内の自主防災組織の実情把握と情報共有等を主な目的に、自主防災連絡会は、平成三十年に設立しました。

その後、各町内の自主防災組織の実態調査を行い、その成果を「各町内の防災訓練の概要」という冊子にまとめました。

また、東部コミ協の避難場所である、新津第一小学校の視察・防災備蓄品等の確認も行つてきました。

令和二年度からは、各町内の防災訓練の相互視察を行い、二小での避難訓練につなげていく予定としてい

ましたが、コロナウイルスの影響で、思ったような活動をすることができませんでした。

秋葉区からは、各避難所毎に「避難所運営委員会」を設立して欲しいとの要請もあり、令和三年からは、その設立に関する検討を中心に行活動を行つて来ました。

避難所の運営には、多くの住民の皆様のご理解とご協力が不可欠であり、安心・安全な地域づくりのためにも、二小避難所運営委員会を設立し、具体的な活動につなげていきますので今後ともご協力をお願いします。

告知 新津川おかえり ☆灯り ぶろじぇくとIV(フォー)



令和4年10月30日(日)
二小体育館にて開催予定

新津川おかえり☆灯りぶろじぇくとIVを10月30日に開催する予定です。

灯ろうの灯りに彩られた幻想的な空間と子どもたちの豊かな感性を十分にお楽しみ頂ければと思います。

編集後記

平成18年度（平成19年3月11日）に設立した東部コミ協も早いもので、令和4年度で16年目を迎えます。

当初は、「顔の見える地域づくり」を行うために、子どもから大人まで参加できる各種イベント等を中心に活動を行い、新津第二小学校とは、地域での子どもの見守り、総合学習等を通じて、良い関係づくりが出来たと思っております。

総合学習として、25年以上も取り組んできた「サケの放流」が「鮭が遡上する川：新津川」を創り上げたことを振り返りながら、新津川おかえり☆灯り ぶろじぇくとIVをご覧頂くとともに、これからもコミ協活動にご協力を頂ければ幸いです。

総務部 渡邊

新津東部コミ協だより ミニかわら版

—令和4年9月号—

- 発行者：新津東部コミュニティ協議会
- 発行人：斎藤 龍秋
- 事務局：新潟市秋葉区新津東町1丁目5番12号
新津地区勤労青少年ホーム内
TEL・FAX 0250-23-0780
- 編集：新津東部コミュニティ協議会 総務部
- 印刷：株トヨービジネス